

部局名	安全環境部	所属名	総合防災課	所属長名	知脇 幹雄	電 話	483-1151 内線2291
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3058		事務事業名称	防災啓発事業					短縮コード	経常	3058	臨時	3059
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	災害対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		災害対策基本法，千葉県総合防災訓練実施方針，八千代市地域防災計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・自主防災組織の結成の促進及び健全な育成を図るため，自主防災組織へ補助金の交付等の支援を行っております。 ・市民を対象として，防災教室，防災フェアの開催及び市民団体からの依頼による防災講話等を行い，災害時に役立つ知識や行動力を身につけたり，防災への関心を高めていただきます。 ・防災関係機関相互の連携体制を強化するため，総合防災訓練を行い，災害時における防災活動が円滑に実施出来るようにします。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
阪神・淡路大震災直後は，市民の防災に対する意識が高まりました。しかし，時が経つにつれて災害の記憶が風化傾向にありましたが，平成16年の新潟県中越地震，平成19年の能登半島地震及び新潟中越沖地震の発生等により，また市民の防災に対する意識が高まりました。					大項目（節）	01	市民の安全						
					中 項 目	01	防災						
					小項目（施策）	01	災害予防体制の充実						
					細 項 目	02	防災意識の普及・啓発						
						03	自主防災体制の強化						
				実施計画の計画事業	3102	自主防災組織創設・育成事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成23年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民(住民基本台帳に登録している住民＋外国人登録をしている外国人) 市内の全自治会・町内会，自主防災組織 防災関係機関，市役所職員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 1. 自主防災組織への補助金の交付，2. 自主防災組織への防災資機材の貸与，3. 自主防災組織の消火器薬剤無償詰め替えの実施，4. 自主防災組織の訓練指導の実施，5. 総合防災訓練の開催，6. 職員防災訓練の実施，7. 夏休み親子防災教室の開催，8. 女性のための防災教室，9. 市民団体等への防災講話の実施							
	※平成22年度に計画していること： 1. 自主防災組織への補助金の交付，2. 自主防災組織への防災資機材の貸与，3. 自主防災組織の消火器薬剤無償詰め替えの実施，4. 自主防災組織の訓練指導の実施，5. 自主防災組織指導者研修会の開催，6. 総合防災訓練の開催，7. 職員防災訓練の実施，8. 防災フェアの開催，9. 市民団体等への防災講話の実施							
意図 （何を狙っているのか）	防災意識の高揚と防災能力を高める。 災害発生時に備え，市民・行政機関・防災関係機関の緊密な連携の強化を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市民数	人	191,469	194,000	192,570	196,000	
	指標 2	市内世帯数	世帯	79,145	81,700	79,985	84,200	
	指標 3	防災関係機関数	団体	18	18	18	18	
活動指標	指標 1	防災教室及び市民団体への防災講話実施回数	回	6	6	5	5	
	指標 2	自主防災組織に加入している世帯数	世帯	38,137	39,402	37,753	39,345	
	指標 3	総合防災訓練開催回数	回	1	1	1	1	
成果指標	指標 1	防災教室及び防災講話参加者数	人	201	250	240	250	
	指標 2	市内全世帯数に対する自主防災組織に加入の世帯数の割合	%	48.2	48.2	47.2	46.7	
	指標 3	総合防災訓練参加者数	人	1,394	1,200	1,403	1,200	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3058	事務事業名称	防災啓発事業		所属名	総合防災課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	245	0
		県	千円	614	0	860	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	8, 639	13, 391	9, 525	12, 467
		その他	千円	0	0	0	0
	主な事業費の内訳		自主防災組織への補助金交付 5, 011千円 自主防災組織への貸与防災資機 材購入 1, 844千円 自主防災組織消火器薬剤無償詰 め替え 369千円 総合防災訓練開催のための経費 1, 526千円	委託料 2, 767千円 備品購入費 3, 500千円 補助金 5, 622千円	自主防災組織への補助金交付 4, 879千円 自主防災組織への 貸与防災資機材購入 1, 831千 円 自主防災組織消火器薬剤無 償詰め替え 117千円 総合防 災訓練開催のための経費 2, 358千円	委託料 1, 940千円 備品購 入費 3, 000千円 補助金 5, 645千円	
	人件費 (B)		千円	26, 654. 4	24, 650. 3	26, 387. 1	26, 716. 8
トータルコスト (A) + (B)		千円	35, 907. 4	38, 041. 3	37, 017. 1	39, 183. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		自主防災組織を結成して地域の連携を強化すること，防災フェア等を開催して市民に防災に対する意識を持っていただくこと，及び総合防災訓練等を実施して防災関係機関相互の連携体制を強化することで災害予防体制の強化が図れます。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		まだ，市民の防災に対する意識が薄いので，更に防災意識の普及を図る必要があります。防災に対する意識を持っていただくことで災害時の被害を軽減することができます。 自主防災組織の結成は，まだ結成率50％にも達していませんので，今後も結成促進のための働きかけを行います。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		この事業は，八千代市地域防災計画に基づいて実施しており，市民の生命・財産を守るという市の重大な責務で行われているため，市が防災関係機関・自主防災組織等と連携をとりながら実施すべきものです。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		市民の防災意識を高めることや防災関係機関等との連携の強化を図ることが防災体制の強化になりますので，対象・意図は当初と変わっていません。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		自主防災組織補助金については，自治会に交付している補助金との統合も考慮しましたが，課題も多く効果もみられないと考えています。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法					2	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある				
	☐ ない								

コード	3058	事務事業名称	防災啓発事業			所属名	総合防災課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			この事業は、市民の防災意識を高めること及び防災機関との連携の強化を図る等の事業であり、自主防災組織の結成促進及び育成を図ることから、補助対象組織が増加すること等により、補助金等のコストが増加する。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			自主防災組織の結成促進及び育成を図ることから、補助対象組織が増加すること等により、補助金等のコストが増加する。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☐	☒	
低 下	☐		☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
自主防災組織の充実・強化が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より）	

所属長コメント	自主防災組織の結成の促進及び育成を図り、市民の防災意識を高める等、今後も鋭意進めていくこととする。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		